（様式1）

職業実践力育成プログラム（BP）への申請について

令和7年3月27日

<table>
<tr><td>①学校名：</td><td colspan="2">神奈川　　大学（私立）</td><td>②所在地：</td><td colspan="3">神奈川県横浜市神奈川区六角橋3-27-1</td></tr>
<tr><td>③課程名：</td><td colspan="2">よこはま事業共創プログラム with YOXO</td><td>④正規課程／履修証明プログラム：</td><td>履修証明プログラム</td><td>⑤開設年月日：</td><td>2023/4/15</td></tr>
<tr><td>⑥責任者：</td><td colspan="2">大学院経営学研究科委員長　青木　宗明</td><td>⑦定員：</td><td>30名</td><td>⑧期間：</td><td>8か月</td></tr>
<tr><td>⑨申請する課程の目的・概要：</td><td colspan="6">神奈川大学、関東学院大学、横浜市立大学、横浜国立大学と「イノベーション創出の推進機関」である横浜未来機構が連携し、大企業を中心とした中堅若手社員向けに、事業を創造する際に必要な基礎知識と手法を提供する。将来的に社会人のリスキリングが可能となり、その結果として企業を通じた社会との関り方を変えることを目的とする。
講座は、「ソーシャルデザイン・価値創造」、「技術経営とイノベーション」、「国際ビジネス」の分野を用意し、事業創造に必要な知識と方法論を修得する。また、講義で得た知識をもとに、具体的事例に基づく講座を展開し、実践力を身に付ける。「トップマネジメント講座」では、企業のトップや経営幹部が登壇し、さまざま場面での意思決定の過程と、それにいたる環境条件を、どのように考察して結論に至ったかを直接聞くことで、トップの思考過程を学ぶ。「キックオフセミナー」では、本プログラムの概要を説明し、受講生の理解促進に努める。「中間報告」「最終報告」では、設定課題の解決提案のプレゼンテーションを実施する。
なお、「YOXO」とは、産学公民の多様なプレイ ヤーが（組織や領域を超えて）連携し、横浜からイノベーションを創出していく ムーブメントを象徴するコンセプトである。横浜市内の企業、大学、行政がこのコンセプトを通じて様々な活動を展開し、横浜を一つのイノベーション都市として確立していくことが目的である。こうした地域密着型の総合的な活動の合言葉、ムーブメント、そしてエコシステムを表すキーワードが「YOXO(よくぞ)」であり、任意団体の横浜未来機構が中核組織となっている。本プログラムは、このロゴマークをシンボルとして企業、団体・個人がつながり、新たなビジネスを生み出す環境を作ることを目指している。</td></tr>
<tr><td>⑩10テーマへの該当の有無</td><td>起業</td><td>⑪履修資格：</td><td colspan="4">次の①②の両方を充たす者。
① 大学を卒業した者又はこれと同等以上の学力があると認められた者。
② おおむね5年以上の社会人経験を有する者。</td></tr>
<tr><td>⑫対象とする職業の種類：</td><td colspan="6">企業や団体の課長、主任等、事業創造やリスキリングに関心のある者などを広く対象とする。</td></tr>
<tr><td>⑬身に付けることのできる能力：</td><td colspan="3">（身に付けられる知識、技術、技能）
事業創造に必要な基礎知識、具体的な手法、フレームワークの構築</td><td colspan="3">（得られる能力）
論理的思考力、仮説構築力、仮説検証力、企画力、プロジェクト管理能力、環境分析能力</td></tr>
<tr><td>⑭教育課程：</td><td colspan="6">合計66時間の科目を設定し、理論と実践の融合を目指す。「ソーシャルデザイン・価値創造（18時間）」、「技術経営とイノベーション（18時間）」、「国際ビジネス（18時間）」の分野を用意し、事業創造に必要な知識と方法論を修得し、事例研究では修得した知識をもとに、具体的事例に基づく講座を展開し、実践力を身に付ける。「トップマネジメント講座（6時間）」では、企業のトップや経営幹部が登壇し、さまざま場面での意思決定の過程と、それにいたる環境条件を、どのように考察して結論に至ったかを直接聞くことで、トップの思考過程を学ぶ。。「キックオフセミナー（2時間）」では、本プログラムの概要を説明し、受講生の理解促進に努める。「中間報告（2時間）」「最終報告（2時間）」では、設定課題の解決提案のプレゼンテーションを実施する。講座は、双方向又は多方向に行われる討論を伴う授業を中心に展開し、より実践的な能力が身に付く内容としている。</td></tr>
<tr><td>⑮修了要件（修了授業時数等）：</td><td colspan="6">必修科目66時間の履修及び修了認定</td></tr>
<tr><td>⑯修了時に付与される学位・資格等：</td><td colspan="6">履修証明書</td></tr>
<tr><td>⑰総授業時数：</td><td>66　　時間</td><td>⑱要件該当授業時数：</td><td>66</td><td>該当要件</td><td>双方向実務家</td><td>⑲要件該当授業時数／総授業時数：</td><td>100%</td></tr>
<tr><td>⑳成績評価の方法：</td><td colspan="6">授業中の課題への取り組み、プレゼンテーション、授業に関するレポート内容を総合的に審査し、成績評価をする。</td></tr>
<tr><td>㉑自己点検・評価の方法：</td><td colspan="6">授業評価アンケートにより成果の客観的把握を行い、担当講師にフィードバックすることで授業運営の改善に繋げる。講師等で構成する「よこはま事業共創プログラム with YOXO実施委員会」にて、アンケート結果も踏まえ、学校教育法第109条第1項に定める評価を実施する。その結果をとりまとめ、横浜未来機構と講師等により構成される「よこはま事業共創プログラム with YOXO検討委員会」において報告し、意見を聴取する。その結果は、自己点検・評価結果はホームページで公表する。</td></tr>
</table>

㉒修了者の状況に係る効果検証の方法：	本プログラムの連携機関である横浜未来機構を通じて、継続的に修了生の教育的効果を検証していく。本学経営学研究科との接続を意識することで、本学と修了生との間にコミュニティを形成していく。
㉓企業等の意見を取り入れる仕組み：	（教育課程の編成） 横浜で活動する人々、国内外の人々と連携をしながら、新たなチャレンジに取り組むプレイヤーを応援する「イノベーション創出の推進機関」である横浜未来機構と連携する。横浜未来機構と講師等により構成される「よこはま事業共創プログラム with YOXO検討委員会」を開催し、会員企業にヒアリング等を実施し、企業の現場及び実務に必要なビジネススキル等についてカリキュラム編成に資する意見を取り入れる。 （自己点検・評価） 講師等、関係者で構成される「よこはま事業共創プログラム with YOXO実施委員会」にて、授業評価アンケート結果も踏まえ、学校教育法第109条第１項に定める評価を実施する。その結果をとりまとめ、横浜未来機構と講師等により構成される「よこはま事業共創プログラム with YOXO検討委員会」において報告し、意見を聴取し、その結果を「よこはま事業共創プログラム with YOXO実施委員会」にて検討の上、改善を図る。
㉔社会人が受講しやすい工夫：	社会人が受講しやすいよう、平日は18時以降や、土曜日での開講とする。また、やむを得ない事情で講座を欠席する場合には、録画講座を視聴の上、レポートの提出等をもって出席扱いとする。
㉕ホームページ：	（URL）https://www.ku-portsquare.jp/

事務担当者名：	蕪木　青空	所属部署：	社会連携部
連絡先：	（電話番号） （E-mail）	045-664-3710 kokai-shikaku@kanagawa-u.ac.jp	

＊パンフレット等の申請する課程の概要が掲載された資料を添付してください。
＊様式に記載いただいた内容と欄外の「※集計用データ（文部科学省使用）」に記載の内容が、一致しているかを必ずご確認ください。